



全力坂っ子！

坂瀬川小 学校だより
令和8年1月20日発行
第11号

子供たちは元気です

3学期が始まり、2週間ほどが経ちました。様々なイベントなどが短期間にあり楽しい冬休みを過ごしていた子供たちにとって、心も体も学校生活に切り替えるのには、少し時間が必要だったようです。3学期が始まり、大きく体調を崩す子もおらず、元気に過ごしています。まだ冷え込みが強い日が少なく、お昼になると日射しがあり、運動場でサッカーをしたり、一輪車に挑戦したり、おにごっこをしたりして多くの子が遊んでいます。厳しい寒さはこれからなのですが、感染症の流行も心配です。体調を崩した場合は、学校よりお知らせしますので、体調回復のための対応をお願いします。

気持ちを新たに～書き初め

3学期になって初めての毛筆の学習がありました。今回の題材は書き初めです。3年生「正月」、4年生「出発」、5年生「希望」、6年生「将来の夢」(条幅)です。書き初めは、その名の通り「新年になって初めて、毛筆を使って文字や絵を書くこと」を指す、古くから伝わるお正月の伝統行事です。一般的には、一年の安泰や豊作を祈願する意味合いが込められており、「吉書(きっしょ)」とも呼ばれ、とても縁起の良いものとされています。高学年の文字は、漢字の画数も多く、バランスが難しいです。毛筆指導員の先生のアドバイスを受けながら繰り返し練習しました。墨の香りに包まれた中で、集中して取り組む時間を過ごせたようでした。



子供たちの思い

世界の子供たちが生まれ持った権利に守られ、平和に健やかに成長できることを目指して活動しているユニセフそして、ボランティア・NPO、社会福祉協議会、福祉施設などが行うさまざまな地域福祉の活動に役立てられる赤い羽共同募金に対して12月に募金活動を行いました。自分のお小遣いから心のこもった募金を多くの子がしていました。保護者の皆様にもご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

募金の総額は3,151円です。いきいき企画委員会の子供たちが送金しました。世界の、そして日本の支援が必要な子供たちや支援機関などに役立てられることを願います。



人権週間

12月に実施しました校内人権週間の取り組みを紹介します。本校では12月15日(月)から19日(金)までを期間として、全校で様々な取組を行いました。人権とは、難しいものではなく、「一人一人が大切にされ、安心して生活できること」と子供たちには話しています。校長講話では「心の扉」の話をしました。人の心の中には、たくさんの扉があって、その中の「温かい心の扉」と「冷たい心の扉」について考えてみようとして投げかけました。みんなが「温かい心の扉」を開けるにはどうしたらよいかについて、子供たちからたくさんの意見が出ました。また、各学年では人権学習に取り組み、人を大切にすることや、人を思いやることなどについて、たくさん考えました。「ありがとうの木」の取組では、「ありがとう」を言いたい人にメッセージを葉っぱにかいて飾りました。大きな立派な木になりました。子供たちは、毎日の学校生活の中で友達を関わりながら多くのことを学んでいます。その中には嬉しい気持ちになる経験もあれば、悲しい思いをすることもあります。人が人と関わる時に必ずあることです。人権について考えることは、特別な期間だけで終わるものではありません。人が大切にされ、人を大切にして、安心して学校で生活するにはどうしたらよいか、今後も子供たちと考えていきたいと思ひます。



〈今後の主な予定〉～変更になるときがあります～
1月29日(木)新1年生体験入学・保護者説明会
1月30日(金)苓北中学校体験入学
2月6日(金)クラブ活動見学3年
2月15日(日)授業参観・PTA総会・学級懇談会
2月16日(月)振替休業日
2/17(火)～20(金)漢字計算大会週間
2月27日(金)児童総会

<お願い>

学校からのお知らせや子供たちの様子などもホームページ上でお知らせしています。

なお、右のQRコードをスマートフォンで読み込んでいただいても閲覧することができます。

写真は解像度を押さえているので、見にくいかもしれません。

